

# 株主の皆様へ

## 第68期第2四半期のご報告

平成28年4月1日から平成28年9月30日まで



おしゃれのとなりに  
株式会社 **フジックス**

証券コード：3600

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜りまして厚くお礼申し上げます。

さて、当社グループの第68期第2四半期（平成28年4月1日から平成28年9月30日まで）における営業の概況と決算につきまして、下記の通りご報告申し上げます。

平成28年12月

代表取締役社長

藤井 一郎

### 第2四半期の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、引き続き景気回復は弱含みで、個人消費は足踏み状態が続きました。また、世界経済においても新興国の景気減速や英国のEU離脱問題など懸念材料が多く、国内外ともに先行きの不透明感が払拭されません。

アパレルファッション業界や手作りホビー業界においても、節約志向の強まりやインバウンド需要の驕りなどの影響を受けており、縫い糸事業におきましても全体として厳しい市場環境が続きました。

このような状況の中、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期には国内の工業用縫い糸の価格改正に伴う前倒し受注があったことや中国事業の苦戦に加え、為替換算レートの円高傾向への推移もあって、3,246百万円（前年同期比8.3%減）となりました。

一方利益面は、前述の国内の工業用縫い糸の価格改正や事業収益改善のための諸策の成果もあり、収益性は改善傾向にあります。為替レートが円高に推移したことによる利益率改善に伴う未実現利益消去額の増加などもあり、営業利益は18百万円（前年同期比58.5%減）、経常利益は48百万円（前年同期比13.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は21百万円（前年同期比48.1%減）となりました。

### セグメント別の概況

#### 日本

当期間における国内消費は、引き続き弱含みで節約志向も強まる傾向にあることに加え、消費の下支えとなってきた訪日外国人による所謂インバウンド需要にも驕りが見られ、衣料品や手作りホビー分野の消費も全体として低調に推移しました。

当社グループにおきましては、事業年度の末日を、当社は3月末日、国内子会社は1月末日と定めており、当第2四半期連結累計期間には、当社の平成28年4月から9月まで、国内子会社は平成28年2月から7月までの業績が連結されているため、それらの影響度合いは会社毎に若干の相違があるものの、前年同期には国内の工業用縫い糸の価格改正に伴う前倒し受注があったことや、価格改正を機に不採算製品の見直しも実施したため、当セグメントの売上高は2,588百万円（前年同期比6.7%減）となりました。

一方利益面は、売上高の減少はあったものの、前述の工業用縫い糸の価格改正や不採算製品の見直しを始め、国内事業収益改善のための諸策の成果も徐々に始まっており、セグメント利益は15百万円（前年同期比23.0%増）となりました。

#### アジア

当セグメントに属する全ての海外子会社は、事業年度の末日を12月末日と定めており、当第2四半期連結累計期間には、平成28年1月から6月までの業績が連結されております。

当期間も日本における衣料品消費の低調により、日本向け衣料品の生産は、国内外ともに抑制傾向が続きました。特に中国においては、縫製の東南アジア諸国への分散傾向が続いている要因も加わって、当社グループの中国事業は、受注低迷や工場操業度の低下など、厳しい経営環境が続いております。

タイおよびベトナムの子会社においては引き続き売上高が増加しましたが、為替換算レートが円高傾向に推移したこともあって、当セグメントの売上高は658百万円（前年同期比14.2%減）となりました。

一方利益面では、為替レートが円高傾向に推移したことで、中国子会社における輸出売上高の収益性が改善したことなどにより、セグメント利益は4百万円（前年同期比68.7%増）となりました。

# 連結財務諸表

## 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前期	当第2四半期	増減
<b>資産の部</b>			
流動資産	7,133	6,729	△403
固定資産	3,790	3,448	△341
有形固定資産	2,354	2,087	△267
無形固定資産	275	242	△32
投資その他の資産	1,160	1,118	△41
<b>資産合計</b>	<b>10,923</b>	<b>10,178</b>	<b>△745</b>
<b>負債の部</b>			
流動負債	989	814	△174
固定負債	848	822	△25
<b>負債合計</b>	<b>1,837</b>	<b>1,637</b>	<b>△200</b>
<b>純資産の部</b>			
株主資本	7,677	7,607	△70
その他の包括利益累計額	652	311	△341
非支配株主持分	755	622	△132
<b>純資産合計</b>	<b>9,085</b>	<b>8,541</b>	<b>△544</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>10,923</b>	<b>10,178</b>	<b>△745</b>

## 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	前第2四半期	当第2四半期	増減
売上高	3,541	3,246	△294
売上原価	2,593	2,352	△241
<b>売上総利益</b>	<b>948</b>	<b>894</b>	<b>△53</b>
販売費及び一般管理費	903	876	△27
<b>営業利益</b>	<b>44</b>	<b>18</b>	<b>△26</b>
営業外収益	39	41	2
営業外費用	28	12	△16
<b>経常利益</b>	<b>55</b>	<b>48</b>	<b>△7</b>
特別損失	0	0	0
<b>税金等調整前四半期純利益</b>	<b>55</b>	<b>47</b>	<b>△7</b>
法人税・住民税及び事業税	17	21	4
法人税等調整額	△5	4	9
<b>四半期純利益</b>	<b>43</b>	<b>21</b>	<b>△22</b>
非支配株主に帰属する四半期純利益	3	0	△2
<b>親会社株主に帰属する四半期純利益</b>	<b>40</b>	<b>21</b>	<b>△19</b>

### ● 貸借対照表のポイント

- ・流動資産の主な減少要因は、たな卸資産が減少したことによるものです。
- ・有形固定資産の主な減少要因は、中国子会社等の資産が減少したことによるものです。
- ・流動負債の主な減少要因は、買掛金が減少したことによるものです。

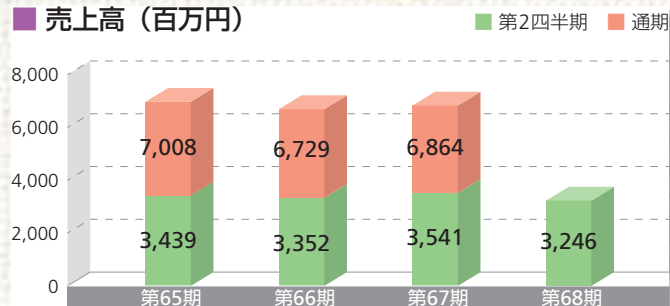
### ● 損益計算書のポイント

前年同期には国内の工業用縫い糸の価格改正に伴う前倒し受注があったことや中国事業の苦戦に加え、為替換算レートの円高傾向への推移もあって減収となりました。

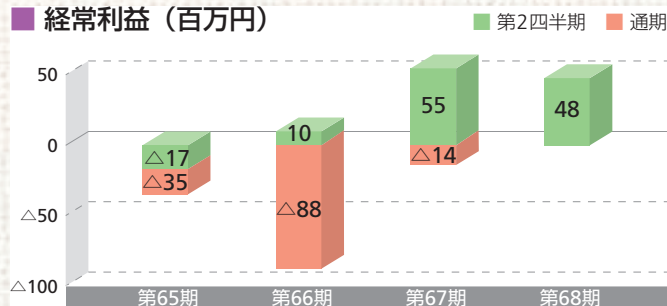
また、利益面では、国内の工業用縫い糸の価格改正や事業収益改善のための諸策の成果もあり、収益性は改善傾向にありますが、為替レートが円高に推移したことによる利益率改善に伴う未実現利益消去額の増加などもあり、減益となりました。

注 国内連結子会社は平成28年2月から7月(1月決算)、海外連結子会社は平成28年1月から6月(12月決算)までの業績が連結されております。

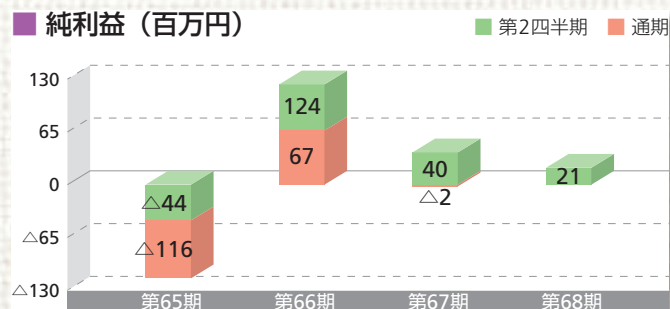
### ■ 売上高 (百万円)



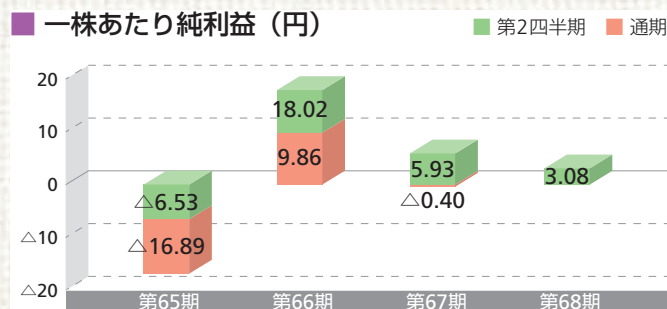
### ■ 経常利益 (百万円)



### ■ 純利益 (百万円)



### ■ 一株あたり純利益 (円)



## ▶ TOKYOキルト&ステッチショー2016 に出展

新しいイベントとして今年初めて開催された「TOKYOキルト&ステッチショー2016」に出展しました。会場の東京ビッグサイトには3日間で3万人近い来場者が訪れ、当社ブースではキルト糸やステッチ糸、飾り糸などを使った楽しい手作りを提案しました。また新製品「Sara (サラ)」の展示や「not Knot (ノットノット)」の使い方のデモンストレーションも好評でした。



## ▶ 中国 北京と上海でのキルト展に出展

中国の上海にて開催された「アジアキルトフェスティバル」および北京にて開催された「中国国際キルト手芸大会」に当社グループの上海富士克制線有限公司が運営するパッチワークキルトショップ「喜楽多拼布」が出展しました。2002年に中国初のパッチワークキルト専門店として同ショップを開店して以来、当社も中国におけるパッチワークキルトの普及活動をバックアップしてきましたが、今や中国の大都市において大きなキルト展や手作りのイベントが開催されるまでになりました。これからもますますの成長が期待できる同国の市場において当社製品のさらなる浸透に努めます。



北京



上海

## ホームページのご案内

会社情報や製品情報など、当社について幅広く掲載しています。また、手づくりファンのための情報サイト「そーいんぐ.com」では、手づくりレシピや手づくりコンテスト、ぬい糸選びチャートなど様々なコンテンツをご用意しております。

<http://www.fjx.co.jp/>



## 会社の概要 (平成28年9月30日現在)

### 事業内容

家庭用縫い糸及び工業用縫い糸・刺しゅう糸並びに各種糸の製造、販売を主たる事業としております。また、これらの原材料及び半製品の販売並びに手芸関連商品及び縫製副資材等の販売も行っております。

創業 大正10年(1921年)3月

設立 昭和25年(1950年)1月

資本金 923,325,000円

従業員数 132名\*パート23名を含む(連結431名)

### 事業所

本社	管理部 営業本部	京都市北区
東京支店	営業部	東京都台東区
滋賀事業所	生産本部 物流部 研究開発室	滋賀県東近江市
東北物流センター	物流部門	秋田県横手市

## 役員 (平成28年9月30日現在)

代表取締役	藤井 一郎	取締役社長
専務取締役	山本 和良	管理部長
常務取締役	松岡 繁生	営業本部長 アジア総代表
取締役	木村 宜夫	生産本部長
取締役	川嶋 伸久	アパレル資材部長 アジア営業統括
社外取締役	山田 善紀	公認会計士
社外取締役	八木 康雄	
常勤監査役	枚山 広幸	
社外監査役	中野 雄介	公認会計士
社外監査役	吉田 薫	弁護士

## グループ会社

### 国内グループ会社

株式会社FTC	京都市北区
株式会社シオン	秋田県横手市
株式会社ニットマテリアル	山梨県甲府市

### 海外グループ会社

上海富士克制線有限公司	中国・上海市
上海新富士克制線有限公司	中国・上海市
上海富士克貿易有限公司	中国・上海市
富士克国際(香港)有限公司	中国・香港
上海福拓線貿易有限公司	中国・上海市
FUJIX INTERNATIONAL Co.,Ltd.	タイ・バンコク
FUJIX VIETNAM Co.,Ltd.	ベトナム・ホーチミン

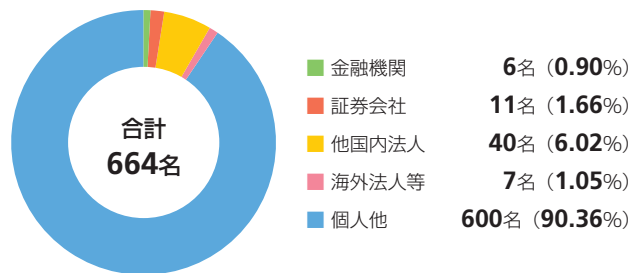
## 株式の状況 (平成28年9月30日現在)

発行可能株式総数	19,945,000株
発行済株式の総数	7,340,465株
株主数	664名
大株主	

	保有株式数(千株)	持株比率(%)
(株)FJ興産	793	11.52
藤井多鶴子	577	8.38
小原京子	430	6.24
森本町子	342	4.97
鈴木直子	342	4.97
藤井一郎	220	3.19
藤井太郎	214	3.11
(株)三井住友銀行	184	2.68
フジックス社員持株会	173	2.51
(株)京都銀行	166	2.41

当社は、自己株式454千株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を除外して計算しております。

### 株主分布状況



## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

基準日 定時株主総会・期末配当金：3月31日  
中間配当を行うとき：9月30日

定時株主総会 毎年6月

単元株式数 1,000株

株主名簿管理人 三井住友信託銀行株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
大阪市中央区北浜四丁目5番33号

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先 0120-782-031

公告方法 電子公告としております。(http://www.fjx.co.jp)

株主様の住所変更等お届け及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願い致します。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。